土木学会・日本建築学会第5回合同シンポジウム

土木・建築の連携 ―相次ぐ地震災害に分野を越えて立ち向かう

共催 土木学会
日本建築学会



出典：熊本災害デジタルアーカイブ／文書識別No. 2017040709_68

2026年
12月14日（月）
13:00～15:00
建築会館会議室
（東京都港区芝5-26-20）
オンライン
（Zoom）
参加費無料

土木学会と日本建築学会は、相互交流の促進と共通課題への連携対応を目的として2021年に覚書を締結し、土木・建築タスクフォースと傘下の４つのワーキンググループのもと、両学会の会員が調査研究活動を進めている。また、その成果を発信する合同シンポジウムを毎年開催しており、本年は第５回という節目を迎える。

本年７月には、平成28年熊本地震の記憶もまだ新しいなか再び熊本で大地震が発生し、「我々は地震災害から逃れられない」という現実を改めて印象付けることとなった。我が国の土木・建築分野では草創期から構造物の耐震化が共通する課題となり、以来繰り返される地震災害に立ち向かって来たが、今日では防災拠点やインフラの地震発生後の機能維持、縮小社会における地域レジリエンス向上など、両分野が連携して取り組むべき課題は益々複雑化、広範化している。

本シンポジウムのパネルディスカッションでは、令和８年熊本地震の被害状況と得られた知見を共有し、地震災害に立ち向かう両分野の今後の更なる連携の可能性を探っていく。

13:00　はじめに　楠 浩一　（TF委員長／日本建築学会副会長／東京大学）

13:05　土木・建築タスクフォースWG活動報告
（1）構造設計の基本WG　横田 弘　（同WG主査／沿岸技術研究センター）
（2）災害連携WG　小野 祐輔　（同WG主査／鳥取大学）
（3）脱炭素WG　松本 亨　（同WG主査／北九州市立大学）
（4）DX-WG　蒔苗 耕司　（同WG主査／宮城大学）

13:55　パネルディスカッション
相次ぐ地震災害に分野を越えて立ち向かう ―令和8年熊本地震から考える土木・建築のこれから
司会：楠 浩一　（前掲）
（1）被害の概要・特徴［建築］　五十田 博　（日本建築学会災害委員会委員長／京都大学）
（2）被害の概要・特徴［土木］　高橋 良和　（土木学会地震工学委員会委員長／京都大学）
（3）パネルディスカッション　小澤 一雅　（土木学会会長／政策研究大学院大学）
小野田 泰明　（日本建築学会会長／東北大学）
五十田 博　（前掲）
高橋 良和　（前掲）

14:55　まとめ　泉 典洋　（TF委員長／土木学会副会長／北海道大学）

土木学会・日本建築学会 第５回合同シンポジウム
土木・建築の連携 ―相次ぐ地震災害に分野を越えて立ち向かう

参加費

無料

参加方法

会場	建築会館会議室 （東京都港区芝5-26-20-3階）	オンライン （Zoomミーティング）
定員	36名（先着順）	定員なし
お申込み	学会Webページよりお申込みください。 建築会館会議室 参加申込ページ	学会Webページよりお申込みください。 オンライン参加 申込ページ
入場方法	開始時刻30分前からご入場を受付けます。 ご入場の際に受付はございませんので、ご自由に会場内の空いている座席にご着席ください。	開始時刻5分前を目安に、参加URLからZoomに接続してください。 参加URLは、お申込み直後に自動送信される**お申込み受付完了通知メール**（下記参照）に記載されています。 件　名：**【日本建築学会】お申込み受付完了通知（Thank you for your application.）** 送信元：**sympo@aij.or.jp**

配布資料（PDFファイル）

資料は土木・建築タスクフォースWebページからダウンロードできます。

※ファイルは開催日の前日までにアップロードします。

建築CPD実績登録申請

お申込み受付完了通知メールに申請方法が記載されています。

オンライン参加にあたってのお願い

接続数管理のため、ご視聴される端末単位での参加申込みをお願いします。

ご視聴にあたり録音や録画、撮影はご遠慮ください。

本会ではZoom操作の支援をいたしませんので、ご不明点はZoom公式サポートをご参照ください。

【お問合せ先】　一般社団法人日本建築学会 事務局（加藤）
電話：03-3456-2057／E-Mail：kato@aij.or.jp